

岡山県内出土古墳時代人骨の集成と子ども墓について

四 田 寛 人

はじめに

本稿の目的は、これまで岡山県内の遺跡で出土した古墳時代人骨を集成して基礎的な情報を整理することである。また、筆者前稿⁽¹⁾にて、津山市桑山3号墳の幼児埋葬の検討を行った際、人骨の出土遺跡や埋葬施設について、資料の詳細を提示することができなかったため、本稿をもってデータを示す。加えて、年少者が埋葬されたと考えられる箱式石棺についても、若干の検討を行っていきたい。

1 岡山県内出土古墳時代人骨の集成

岡山県内で出土した古墳時代人骨のうち、表1に形質人類学的な検討により性別・年齢が知られているもの、表2は検討が行われていないものを集成した。

記載事項としては、遺跡名、所在地、時期、墳形と規模、埋葬施設の種別、埋葬位置、遺構名称、遺構規模、副葬品、人骨番号、性別、年齢、人骨に関する特記事項、埋葬形態、出典文献を記載した。これらの内、所在地は2023年時の市町村名である。時期及び墳形と規模については、基本的に各報告文献に従っている。埋葬位置は清家章の分類⁽²⁾に従い、墳丘の中央部に設けられた最も中心的な埋葬を主要埋葬施設（表中「主」）、墳丘の主要平坦面に位置するその他の埋葬施設を副次的埋葬施設

（表中「副」）、墳丘斜面や裾部、周溝の内外に設けられる埋葬施設を周辺埋葬施設（表中「周」）とする。被葬者の年齢については松下孝幸による区分⁽³⁾に従い、乳児（1歳未満）、幼児（1～5歳）、小児（6～15歳）、成年（16～20歳）、壮年（21～39歳）、熟年（40～59歳）、老年（60歳以上）とし、性別・年齢の判定については基本的に各報告に基づいている。

今回の集成では131遺跡186体の出土を確認し、そのうち性別・年齢が検討された人骨は70遺跡115体、不明なものは62遺跡71体であった。時期は古墳時代前期が17遺跡28体、中期が46遺跡61体、後期が25遺跡53体、時期不明が43遺跡51体である。性別や年齢に関する検討が行われた人骨については、男性56体（小児1、成年4、壮年26、熟年17、老年7、不明1）、女性41体（小児1、成年1、壮年20、熟年10、老年7、不明2）、性別不明18体（幼児1、小児5、成年以上1、壮年1、熟年1、老年2、不明7）である。

人骨を出土する埋葬施設については、箱式石棺92例、竪穴式石室13例、木棺墓1例、組合式石棺1例、木棺粘土槨2例、横穴式石室17例、横穴墓1例、不明7例であり、箱式石棺を埋葬施設とするものが全体の68%を占める。これは箱式石棺の構造による密封性によるものと思われる。

表1 性別・年齢が明らかとなっている人骨出土例

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨番号	性別	年齢区分	その他	埋葬形態	文献
岩井山4号墳	岡山市北区御津伊田	中期	方12m	箱式石棺	?	第1号棺	幅34cm			女性	熟年後半	50～60歳	単独埋葬	1
岩井山6号墳	岡山市北区御津伊田	中期	方11m	箱式石棺	主	第1主体	154×36	直刀・鉞・板状鉄器		女性	壮年		単独埋葬	1
岩井山8号墳	岡山市北区御津伊田	中期	方10m	箱式石棺	主	第1主体	154×36			男性	壮年		単独埋葬	1
宗形神社古墳	岡山市北区大窪	前期～中期	円14m	箱式石棺	主		190×50	方形板刃先1・鉄斧1・刀子2・鎌1・勾玉2・管玉5・小玉4	1号人骨	男性	壮年後半	西頭位	同棺複数埋葬	2
									2号人骨	女性	壮年前半	初葬、片付け		
長坂1号墳	岡山市北区下足守	前期中葉	方7m	箱式石棺	主		155×32	鉄剣1	東頭位	女性	壮年前半	初葬	同棺複数埋葬	3
									西頭位	男性	熟年	追葬		
長坂3号墳	岡山市北区下足守	前期	方10m	箱式石棺	主	A埋葬	(106)×30			女性	熟年	2基並立	単独埋葬	3
				箱式石棺	主	B埋葬	(78)×28			不明	不明		単独埋葬	

紀要第3号

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨 番号	性別	年齢 区分	その他	埋葬形態	文献
南坂16号墳	岡山市北区下足守	前期～ 中期	楕円 17m	箱式石棺	副	主体部1	166×40			女性	成年		単独埋葬	4
南坂27号墳	岡山市北区下足守	前期～ 中期	方9m		主		170×42	鉄剣2		男性	小児	10代前半 か	単独埋葬	4
堂山2号墳	岡山市北区平山	古墳中期	方12m	竪穴式石室	主		不明	剣・刀子・鍬・鋤・ 鎌・小玉・鉄滓		男性	老年		不明	5
飯盛山東1号墳	岡山市北区芳賀	前期	方9m	箱式石棺	主		180×40			女性	熟年	50代	単独埋葬	6
浅川2号墳	岡山市東区浅川	前期末～ 中期初頭	円7m	箱式石棺	主		184×43	鉄剣1	1号 人骨	男性	熟年	兄弟か(清 家論文)	同棺複数埋葬	7
浅川3号墳	岡山市東区浅川	前期末～ 中期初頭	不明	箱式石棺	主		170×40	銅鏡1・筒形銅器1・ 鉄剣1	2号 人骨	男性	熟年		単独埋葬	7
陣場山6号墳	岡山市東区瀬戸町 江尻	中期	方20m	箱式石棺	主		162×30			女性	壮年	赤色顔料、 全身骨残存	単独埋葬	8
矢部53号墳	倉敷市矢部	前期	不明	箱式石棺	主	シスト1	160×30			男性	壮年		単独埋葬	9
沼6号墳	津山市沼	中期	方14m	箱式石棺	副		177×38		東枕	男性	壮年 後半	西枕→東枕 父子もしくは 兄弟	同棺複数埋葬	10
									西枕	男性	熟年			
下道山南古墳	津山市総社	中期	方20m	箱式石棺	主	第2主体部	190×45	石製紡錘車3	1号	男性	壮年 後半	ほぼ同時に 埋葬か	同棺複数埋葬	11
									2号	女性	壮年			
久米三成4号墳	津山市中北字三成	中期	方方 35m	箱式石棺	主	第1主体部	190×45	銅鏡・鉄斧・鉄剣・ メノウ製勾玉	1号	男性	壮年～ 熟年	キョウダイ 埋葬 (田中1999)	同棺複数埋葬	12・ 13
									2号	女性	壮年			
				箱式石棺	副	第2主体部	197×40		東頭位	女性	熟年	ミトコンドリア DNAが異なる(清 家2023)	同棺複数埋葬	
									西頭位	女性	小児			
桑山南5号墳	津山市平福	後期	円9m	竪穴式石室	主		210×65	鉄鎌4、刀子1		男性	壮年	頭蓋骨、大 腿骨	単独埋葬	14
桑山3号墳	津山市平福	後期	円9m	箱式石棺	主		97×30	鹿角装短刀2・鉄 鎌19・玉50		不明	幼児	2～4歳の 幼児	単独埋葬	15
広浜古墳	笠岡市広浜	不明	不明	箱式石棺	?		155×30			女性	老年		単独埋葬	16
茂平八幡境内 1号石棺	笠岡市茂平	不明	不明	箱式石棺	?		164×29			男性	成年		単独埋葬	16
茂平八幡境内 2号石棺	笠岡市茂平	不明	不明	箱式石棺	?		152×40			男性	熟年		単独埋葬	16
弓場山古墳	笠岡市走出	前期	円10m	箱式石棺	主		185×39	直刀2・鉄斧・鍬・ 方形板刃先		男性	成人		単独埋葬	16
岩崎山5号墳	井原市下出部町	前期～ 中期	不明	箱式石棺	主		180×35	刀子1・鉄鎌1		男性	不明		単独埋葬	16
岩崎山6号墳 (岩崎山4号墳)	井原市下出部町	前期～ 中期	円5m	竪穴式石室	主		260×60	刀子1・鉄鎌1		男性	老年	老年男性が 初葬、半ば 腐朽した状 態で追葬	同棺複数埋葬	16
										男性	熟年			
石塔山古墳	井原市大江町	前期～ 中期	円10m	竪穴式石室	主		355×95	鉄剣1・ガラス小 玉19		男性	壮年		単独埋葬	18
江崎石棺	総社市上林	前期	円5m	箱式石棺	主		172×42	剣・方形板刃先2・ 勾玉3	1号	男性	老年		同棺複数埋葬	16
									2号	女性	老年			
江崎古墳	総社市上林	後期	方円 45m	横穴式石室	主		238×125 (家形石棺)	飾金具30・刀子・ 雲珠・鉄鎌1・金 環2・ガラス製小 玉110(石棺内出 土)		男性	壮年 前半	家形石棺内 出土	同棺複数埋葬	19
										女性	壮年 後半			
殿山9号墳	総社市三輪	前期	方14m	箱式石棺	副	第2主体部	180×44	剣・鎌・鉄鎌		男性	壮年		単独埋葬	20
殿山11号墳	総社市三輪	前期	方15m	箱式石棺	副	第3主体部	168×44	管玉2		不明	不明		単独埋葬	20
殿山21号墳	総社市三輪	前期	方11m	箱式石棺	主	第1主体部	192×48		1号	女性	壮年～ 熟年		同棺複数埋葬	20
									2号	女性	壮年			
三輪山6号墳	総社市三輪	後期	円15m	横穴式石室	－		玄室長 2.4m	銀環2・管玉11・ 算盤玉41・切子玉 3・小玉4・大刀3・ 刀子6・鉄鎌100 以上・轡4・鞍1・ 鍙1・雲珠3・辻金 具2・留金具18・ 鉸具4・鋤2・鎌1・ 手鎌3・斧2・鑿2・ 刀子1		女性	成人 以上		－	21
										女性	老年?			

岡山県内出土古墳時代人骨の集成と子ども墓について

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨 番号	性別	年齢 区分	その他	埋葬形態	文献
長砂 8 号墳	総社市久代	中期前半	方 13m	箱式石棺	主		(120) × 36			男性	壮年 前半		単独埋葬	22
長砂 10 号墳	総社市久代	中期前半	円 10m	箱式石棺	主	第 1 主体	172 × 40	滑石製勾玉 15・管玉 4・小玉 8・白玉 140		女性	壮年 後半	隣接する第 2 主体は土器棺墓（幼児葬か）	単独埋葬	22
久米 2 号墳	総社市久米	中期	方 14m	箱式石棺	主		160 × 40	鉄刀 1・鉄針 2	第 1 号	男性	壮年	3 体が埋葬、人骨の遺残状態は良好埋葬順序不明	同棺複数埋葬	19・23
									第 2 号	男性	熟年			
									第 3 号	女性	壮年～熟年			
前山 1 号墳	総社市宿	中期前半	方 12m	箱式石棺	主		184 × 33	－		男性	壮年	30 代以降	単独埋葬	24
前山 2 号墳	総社市宿	中期前半	方 7.5m	箱式石棺	主		170 × 40	刀子 1		男性	若年者	歯のみ出土	単独埋葬	
龍王 11 号墳	総社市宿	中期中葉～後半	不明	山頂に 3 基の箱式石棺が並列	?		(130) × 45	横切板鋸留短甲（出土状況不明）	人骨 A	男性	壮年	A・B は 11～13 号のいずれかから出土	単独埋葬？	25
龍王 12 号墳			不明		?		175 × 50		人骨 B	女性	熟年		単独埋葬？	
龍王 13 号墳			不明		?		184 × 42						単独埋葬？	
赤羽根古墳群	高梁市落合	不明	不明	箱式石棺	?	6 号主体部	185 × 43			男性	壮年	頭部赤彩	単独埋葬	
赤羽根古墳群	高梁市落合	不明	不明	箱式石棺	?	7 号主体部	165 × 42			男性	壮年	同時埋葬・頭部赤彩 6・7 号主体部は同一墳丘か、ミトコンドリア DNA を共有、母系の血縁を有する（清家ほか 2021）	同棺複数埋葬	26
										女性	壮年			
赤羽根古墳群	高梁市落合	不明	不明	箱式石棺	?	8 号主体部	183 × 42	鉄剣		男性	壮年	頭部赤彩、頭部縫合残る	単独埋葬	
上の山 6 号墳	備前市新庄	前期？	墳丘不明	箱式石棺	?		157 × 39		1 号人骨（北頭位）	女性	壮年 前半	同時埋葬、姉妹か（清家 2010）	同棺複数埋葬	27
									2 号人骨（南頭位）	女性	壮年 後半			
我城山 7 号墳	瀬戸内市邑久町上笠加	不明	円 5m	小竪穴式石室	主		180 × 50	土師器		女性	成人以上	報告では 2 号墳	同棺複数埋葬	28
										不明	小児			
安ヶ礼古墳	赤磐市斗有	不明	円 8m	箱式石棺	主		179 × 43			女性	老年		単独埋葬	29
中島 1 号墳	赤磐市中島	前期	方 18m	小竪穴式石室	主		不明	鉄剣・玉類	1 号人骨	男性	壮年	小竪穴式石室・土坑墓など 15 基の埋葬施設	同棺複数埋葬	30
									2 号人骨	女性	壮年 前半			
中原 3 号墳	真庭市久世	中期	円 16 m	箱式石棺	主		178 × 44	鉄剣・鉄刀		男性	熟年		単独埋葬	31
中原 7 号墳	真庭市久世	中期	方 11m	箱式石棺	主？	第 2 主体部	218 × 42			不明	熟年	頭蓋骨のみ	単独埋葬	
中原 8 号墳	真庭市久世	中期	方 15m	箱式石棺	主	第 2 主体部	198 × 43			女性	壮年後半～熟年 前半		単独埋葬	
中原 12 号墳	真庭市久世	中期	円 16m	箱式石棺	主		173 × 43		1 号	男性	壮年	埋葬順 1 号→ 2 号	同棺複数埋葬	
									2 号	男性	熟年			
中原 15 号墳	真庭市久世	中期	方 12m	箱式石棺	主		213 × 62			女性	壮年 後半		単独埋葬	
中原 24 号墳	真庭市久世	中期	方 17m	箱式石棺	主	第 1 主体部	246 × 64	鉄刀・刀子・竖櫛 37		男性	壮年後半～熟年 前半		単独埋葬	

紀要第3号

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨 番号	性別	年齢 区分	その他	埋葬形態	文 献		
定西塚古墳	真庭市上中津井	後期	方 16 × 14m	横穴式石室	－		石室全長 10.7 m	耳環 1、玉類 2、方 頭大刀 1、青銅製 刀装具、鉄鏃 97、 両頭金具 12、轡 1、 鉸具 3、刀子 5 以上、 鉄滓、筭状骨角製 品 2、円形穿孔製 品 2、鉤形骨角製 品 3		男性？	壮年	石室内に 人骨集積	－	32		
										不明	壮年					
										不明	老年					
										不明	老年					
										不明	若年					
										不明	小児					
字月原古墳	浅口市鴨方町字字月 原	中期	不明	箱式石棺	？	－	155 × 40	鉈・鎌・剣形品	No.1	男性	熟年		同棺複数埋葬	16		
									No.2	不明	不明					
芋岡山 1 号墳	小田郡矢掛町中	中期	不明	箱式石棺	？		160 × 54	竖櫛		男性	老年		単独埋葬	16		
芋岡山 2 号墳	小田郡矢掛町中	中期	不明	箱式石棺	？		172 × 35			不明	不明	頭頂骨のみ	単独埋葬			
中ノ谷横穴墓	真庭郡新庄村	飛鳥	横穴墓	－	－	－	横穴墓 全長 7 m	鉄刀 1、鉄鏃 1、刀 子 1	1 号 人骨	女性	老年	12 歳程度	－	33		
									2 号 人骨	女性	壮年					
									3 号 人骨	不明	小児					
竹田 5 号墳	苫田郡鏡野町竹田	前期	方 17m	箱式石棺	主	中央南棺	193 × 44	鼓形器台(土器枕)・ 鉄鎌・小刀・刀子	1 号	不明	成人 以上	同時埋葬	同棺複数埋葬	34		
				箱式石棺	主	中央北棺	193 × 43		2 号	女性	壮年					
									3 号	不明	小児					
				箱式石棺	副	東棺	185 × 38		鉈	4 号	男性	熟年	単独埋葬			
				箱式石棺	副	南棺	163 × 40		5 号	不明	不明		同棺複数埋葬			
									6 号	不明	不明					
スクモ塚 1 号墳	苫田郡鏡野町馬場	中期	方 13m	箱式石棺	主	第 2 主体部	172 × 35			男	成人 以上		単独埋葬	35		
落山古墳	勝田郡勝央町小矢田	中期前半	円 12m	箱式石棺	主		186 × 44 (小口不明)	鉈 1・不明鉄器 1・ 刀子 1・方形板刃 先 1		男	熟年 後半		単独埋葬	36		
石井古墳群 1 号墳	岡山市高松？	不明	不明	箱式石棺	不明		不明	不明		男性	壮年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
浦間北山古墳	不明	不明	不明	不明	不明		不明	不明	136A	女性	壮年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
北山古墳	上道郡上道町？	不明	不明	不明	不明		不明	不明	136	女性	壮年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
									136B	男性	熟年					
真備古墳	吉備郡真備町？	不明	不明	箱式石棺	不明		不明	不明		女性	熟年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
滝古墳	玉野市滝？	不明	不明	不明	不明		不明	不明		男性	壮年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
久米古墳	総社市阿曾？	不明	不明	不明	不明		不明	不明		男性	熟年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
笹井古墳	赤磐郡鳥取上？	不明	不明	不明	不明		不明	不明		男性	壮年	出土遺跡 詳細不明	不明	23		
西軽部古墳群 第 3 号？	赤磐郡赤坂町？	後期	不明	横穴式石室	－		不明	鉄刀 2	128A	女性	老年	1920 年発掘 出土遺跡 詳細不明	－	23		
									129A	女性	老年					
									129B	男性	老年					
									130A	男性	老年					
									130B	女性	壮年					
									131	男性	壮年					
									132	女性	熟年					
									133	女性	壮年					
									134	男性	壮年					

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨番号	性別	年齢区分	その他	埋葬形態	文献
西軽部古墳群第3号?	赤磐郡赤坂町?	後期	不明	横穴式石室	-		不明	鉄刀2	135	男性	壮年	1920年発掘出土遺跡詳細不明	-	23
										不明	小児			
和気古墳	和気郡和気町?	不明	不明	不明	不明		不明	不明	第1号	男性	老年	出土遺跡詳細不明	不明	23
									第2号	男性	熟年			

表2 性別・年齢が不明な人骨出土例

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨番号	性別	年齢区分	その他	埋葬形態	文献
甫崎天神山1号墳	岡山市北区津寺	前期	方10m	木棺	副	第2主体	200×42	緑色凝灰岩製管玉1		不明	不明	歯のみ	単独埋葬	37
前池内3号墳	岡山市北区津寺	後期	円18m	横穴式石室	-		全長9m	鉄刀1、鉄鏃1、耳環3、不明鉄製品1		不明	不明	7体分の人骨出土	-	37
後池内古墳	岡山市北区津寺	中期	円10m	箱式石棺	主		180×40	鉄剣1、刀子3、鉄鏃6		不明	不明	歯のみ	単独埋葬	37
祇園古墳	岡山市北区御津伊田	不明	不明	不明	?		不明	須恵器、鉄器		不明	不明		不明	38
名称未定	岡山市北区玉柏	不明	不明	竪穴式石室?	?		不明	刀剣?		不明	不明		不明	地
阿保田神社境内	岡山市東区瀬戸町万富	不明	不明	箱式石棺	?		不明	鉄器残片1		不明	不明	1940年出土	不明	39
勝負砂古墳	倉敷市真備町下二万	古墳中期	帆立貝形42m	竪穴式石室	主		360×120	鏡1、鉄刀2、鉄鉾2、鉄鏃約100、胡録1、短甲1、両頭金具形骨角製品2、鉄斧5、鉄鏃3、鉄鋤先3、刀子6、鉄鑿9、鉄針1、刺突漁具3以上、轡1、鎧1、杏葉、鞍、雲珠、滑石製白玉178、コハク玉、砥石5		不明	不明		単独埋葬	40
王墓山向山17号墳	倉敷市矢部	後期	不明	横穴式石室	-	-	-	金環、鉄鏃、須恵器、土師器		不明	不明	-	-	地
隠里古墳	津山市瓜生原	古墳	不明	箱式石棺	?		155×40	滑石製勾玉3、刀子片	A人骨	不明	不明	成人以上	同棺複数埋葬	41
									B人骨	不明	不明	成人以上		
									C人骨	不明	不明	成人以上		
沼2号墳	津山市沼	不明	不明	箱式石棺	?		不明						不明	10
沼3号墳	津山市沼	不明	円6m	箱式石棺	主		158×45	鉄片		不明	不明		不明	
沼4号墳	津山市沼	不明	不明	箱式石棺	主		167×42			不明	不明	2体が出土か	不明	
沼5号墳	津山市沼	不明	方9m	箱式石棺	主		不明			不明	不明		単独埋葬	
沼7号墳	津山市沼	不明	不明	箱式石棺	主		不明			不明	不明		不明	
沼14号墳	津山市沼	不明	不明	箱式石棺	主		162×36			不明	不明		単独埋葬	
沼斎神社裏2号墳	津山市沼	不明	不明	箱式石棺	主		145×30			不明	不明	頭蓋骨のみ	単独埋葬	42
奥の前1号墳	津山市油木北	前期	方円65m	組合式石棺	主		不明	銅鏡1、銅鏃23、鉄斧2、鉄剣2、勾玉1、ガラス小玉10、堅矧板革綴短甲1		不明	不明	頭蓋骨	不明	43
押入兼田1号墳	津山市押入	中期	方11m	箱式石棺	主	第1主体	173×38	蛇紋岩製勾玉13、蛇紋岩製小玉27		不明	不明	大腿骨のみ枕石が両小口にあることから同棺複数埋葬か	同棺複数埋葬	44
河面丸山2号墳	津山市河面	後期	円13m	横穴式石室	-	陶棺	不明	刀子、鉄鏃		不明	不明	陶棺内に2体の人骨	-	45
										不明	不明			

紀要第3号

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨番号	性別	年齢区分	その他	埋葬形態	文献
室尾石生谷口古墳	津山市加茂町青柳	古墳	円 14m	横穴式石室	－		石室全長 8.5 m	須恵器、鉄刀 1、鉄鏃 9、刀子 10、馬具、耳環 9、玉類 125		不明	壮年？	奥壁付近に集中	－	46
小高尾 1 号墳	津山市田熊	不明	円 7m	箱式石棺	－		不明			不明	不明		単独埋葬	地
川崎光学園 1 号墳	津山市川崎	後期	円	横穴式石室	－		不明			不明	不明		－	地
兼田丸山古墳	津山市川崎	不明	不明	箱式石棺	－			四獣鏡		不明	不明	箱式石棺 2 基？		39
足田口 5 号墳	津山市宮部下	不明	不明	箱式石棺	？		不明			不明	不明		単独埋葬	地
大沢 1 号墳	津山市久米川南	後期	円 5m	横穴式石室	－		石室全長 2.4 m			不明	不明		－	47
登峪 9 号墳	津山市くめ	後期	円 8m	横穴式石室	－		不明			不明	不明		－	地
日上畝山 1 号墳	津山市日上	前期	方 20m	箱式石棺	副	第 2 埋葬主体	177 × 44	鎧 1		不明	不明	頭蓋骨、大腿骨	単独埋葬	48
宮の峠古墳	井原市芳井町下鳴	不明	不明	箱式石棺	？		160 × 50			不明	不明	頭蓋骨・大腿骨	単独埋葬	49
亀迫古墳 (城山古墳)	井原市西江原町	不明	不明	箱式石棺	？		不明			不明	不明	昭和 34 年発見	単独埋葬	50
山崎 1 号墳	井原市東江原町	不明	不明	箱式石棺	？		不明			不明	不明	頭蓋骨？赤色顔料	単独埋葬	50
木田古墳	井原市大江町	後期	円 10m	横穴式石室	－		石室全長 3.1m	鉄器？		不明	不明		－	50
狼谷古墳	井原市大江町	後期	不明	横穴式石室	－		石室全長 4.1m	剣		不明	不明		－	50
佐野山古墳	総社市井尻野	中期	方 25m	箱式石棺	主		272 × 43	碧玉製管玉 26・滑石製小玉多数・櫛 2・針 2・鉄剣 2・鉄鏃 47・刀子 1・鎧 2 (棺外に長方板革綴短甲)		不明	不明	頭蓋骨、大腿骨ほか 2 体が対置埋葬	同棺複数埋葬	19
										不明	不明			
若水山 5 号墳 (若水山古墳)	総社市原	不明	不明	箱式石棺	主		不明	管玉・ガラス玉		女性	不明	女性が初葬、女性の赤色顔料のみ	同棺複数埋葬	地
										男性	不明			
横田東 2 号墳	新見市哲西町矢田	後期	円 10m	竪穴式石室	主		232 × 60	鉄刀 1・刀装具 (銀装)・鉄鏃 12・刀子		不明	不明	頭蓋骨片	単独埋葬	51
惣田奥 4 号墳	備前市佐山	後期	円 6m？	横穴式石室	－	陶棺	石室全長 3.6m					陶棺内、火葬骨	－	52
船山古墳	瀬戸内市長船町長船	後期	方 円 60m	箱式石棺	周		不明	刀子 1		不明	不明	後円部墳端付近、全身骨	単独埋葬	53
横山 2 号墳	瀬戸内市牛窓町鹿忍	不明	不明	箱式石棺？	？	－	194 × 48			不明	不明		不明	地
虫明長島古墳	瀬戸内市邑久町虫明	中期	不明	箱式石棺	？	第 1 号箱式石棺	不明	鉄鏃 3・骨鏃 ？4		不明	不明	頭蓋骨、大腿骨	単独埋葬	54
				小竪穴式石室	？	第 2 号竪穴式石室	170 × 34			不明	不明	頭蓋骨	単独埋葬	
陣屋 6 号墳	赤磐市斗有	不明	円 6m	箱式石棺	主		174 × 44		No.1	不明	不明		同棺複数埋葬	28
									No.2	不明	不明			
笹井 1 号墳	赤磐市由津里	不明	方 14m	箱式石棺	？	第一主体	180 × 30	鉄刀		不明	不明		不明	55
森古墳	赤磐市由津里		円 10m	箱式石棺	主？		不明	銅鏡		不明	不明		不明	55
吉原 4 号墳	赤磐市上仁保	前～中期	方 22m	箱式石棺	？		不明	鉄剣		不明	不明		単独埋葬	56
野山 2 号墳	赤磐市山陽団地 2 丁目	中期	円 14m	箱式石棺	？		不明	ガラス小玉？		不明	不明		不明	56
岩内 4 号墳	真庭市草加部	後期	円 12m	横穴式石室	－		不明	須恵器		不明	不明		－	地
宮山 2 号墳	真庭市蒜山下和	前～中期	方 15m	竪穴式石室？	？		不明			不明	不明		不明	地
宮山 3 号墳	真庭市蒜山下和	前～中期	円 6m	箱式石棺	？		不明			不明	不明	頭骨が残存	不明	地
石路山 A- 1 号墳	真庭市蒜山西茅部	不明	円 15m	箱式石棺	？		不明	鉄刀？		不明	不明	赤色顔料	不明	地
定北古墳	真庭市上中津井	後期	方 25 × 21m	横穴式石室	－	3 号陶棺	178 × 44	銅碗蓋 (陶棺内)		不明	不明	頭蓋骨布で遺体を包む	単独埋葬	57
						木棺	180 × 44			不明	不明	歯、腕骨	単独埋葬	

岡山県内出土古墳時代人骨の集成と子ども墓について

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬施設	埋葬位置	遺構名	遺構規模 (cm)	副葬品	人骨番号	性別	年齢区分	その他	埋葬形態	文献
定東塚古墳	真庭市上中津井	古墳後期	方 25 × 18m	横穴式石室	－		石室全長 11.6m	金製環 2・金糸 40・耳環 3・歩掛 2・ ガラス玉片 20・鉄 刀 3・刀装具・鉾 4・ 鉄鎌 12・環付足金 具 1・両頭金具 5・ 花形鏡板付釦 1・ 花形杏葉 2・心葉 形杏葉 7・鞍 5・辻 金具 5・鉸具 2・飾 金具 1・鐙先 2・刀 子 4・斧状鉄製品 2・ 鉄滓 (石室内出土)		不明	不明	1 片のみ	－	32
楠原寺山古墳 (寺山 1 号墳)	美作市楠原下	前期	方方 52m	竪穴式石室	主		380 × 97	銅鏡 1、勾玉 1、土 師器、鉄剣 2、ヤ リ 1、鉄鎌 1、鉄鎌 1、鉄斧 2		不明	不明		単独埋葬	58
鏡山古墳	美作市楠原下	中期？	方 9m	箱式石棺	？		170 × 44			不明	不明		不明	58
名称未定	浅口市金光町占見	不明	不明	箱式石棺				刀剣				2 体が向き 合って埋葬	同棺複数埋葬	39
宗枝 8 号墳 (大塚)	苫田郡鏡野町宗枝	中期？	円 38m	箱式石棺	主		163 × 50	鏡・玉・刀		不明	不明	嘉永 6 (1853) 年 に乱掘	不明	59
半峪 1 号墳 (半峪 8 号墳)	苫田郡鏡野町下原	後期	円 10m	箱式石棺	？		180 × 60	鉄斧 1・鏡 1・管玉 2		不明	不明			59
上畑 2 号墳	苫田郡鏡野町和田	不明	不明	箱式石棺	？		不明			不明	不明		不明	59
月の輪古墳	久米郡美咲町飯岡	前期	円 60m	木棺粘土槨	主	中央棺	565 × 55	珠文鏡 1、玉類 18、 鉄刀 3、鉄剣 13、 鉄鎌 50、銅鍬 83、 短甲 1、槍 1、刀子 4、工具 12		不明	不明	頭蓋骨片、 歯数本	単独埋葬	60
				木棺粘土槨	副	南棺	310 × 48	内行花文鏡 1、玉 類 41、小玉 1359、 石釧 1、鉄刀 4、鉄 剣 3、刀子 1、鉄鎌 1、堅櫛 8、針状鉄 製品 22、環状金具 1		不明	不明	頭蓋骨片	単独埋葬	
合葬古墳	久米郡美咲町飯岡	不明	不明	箱式石棺	？					不明	不明	男女 2 体の 人骨出土	不明	地
合葬上古墳	久米郡美咲町飯岡	不明	不明	箱式石棺	？					不明	不明		不明	地
台古墳	吉備中央町下加茂	不明	不明	竪穴式石室	？					不明	不明		不明	地

遺跡文献一覧 1. 『岩井山古墳群』御津町教育委員会 1976 2. 『宗形神社古墳』岡山市教育委員会 1999 3. 『長坂古墳群』岡山市教育委員会 1999 4. 『南坂古墳群 (15 号墳他 5 基)』岡山市教育委員会 2009 5. 西川宏 1964 「岡山県吉備郡佐古田堂山古墳群 (第一次調査)」『日本考古学年報』12 6. 清家章・清山隆編『飯盛山東 1 号墳－墳丘測量調査・石棺発掘調査報告－』岡山大学大学院社会文化科学研究科考古学研究室 2022 7. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』93 岡山県教育委員会 1998 8. 瀬戸町史編纂委員会編『瀬戸町史』瀬戸町 1985 9. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』82 岡山県教育委員会 1993 10. 今井堯ほか 1968 「美作津山市沼六号墳調査報告」『古代古備』第 6 集 古代古備研究会 11. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』17 岡山県教育委員会 1977 12. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』30 岡山県教育委員会 1979 13. 川中健二 1982 「鑑定結果報告」『岡山県埋蔵文化財報告』12 岡山県教育委員会 14. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』255 岡山県教育委員会 2022 15. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』262 岡山県教育委員会 2023 16. 間壁忠彦 1968 「岡山県下の人骨を出土した小古墳六例」『倉敷考古館集報』4 倉敷考古館 17. 間壁忠彦 1973 「笠岡市走出弓場山古墳」『倉敷考古館集報』8 倉敷考古館 18. 井原市史編纂委員会『井原市史Ⅰ』井原市 2005 19. 総社市史編さん委員会『総社市史 考古資料編』総社市 1987 20. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』47 岡山県教育委員会 1982 21. 西川宏「備中三輪山第 6 号古墳」『古代古備』第 5 集 古代古備研究会 1963 22. 『長砂古墳群』総社市埋蔵文化財発掘調査報告 5 総社市教育委員会 1987 23. 川中健二「岡山県出土の古墳時代人頭蓋骨」『考古学と関連科学』鎌木義昌先生古希記念論集 鎌木義昌先生古希記念論文集刊行会 1988 24. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』115 岡山県教育委員会 1997 25. 「龍王山古墳 (宿)」『山手村史』資料編 山手村 2003 26. 岡山県教育委員会編『赤羽根古墳群』高梁市埋蔵文化財発掘調査報告書 1 高梁市教育委員会 1981 27. 「備前市文化財調査年報 (1)」備前市埋蔵文化財調査報告 4 備前市教育委員会 1988 28. 中島寿雄・近藤義郎 1952 「岡山県邑久郡笠加村所在我城山古墳発掘調査報告」『瀬戸内海研究』第 3 号 瀬戸内海総合研究会 29. 近藤義郎 1953 「備前赤磐郡西山村所在の二、三の古墳について」『瀬戸内海研究』第 4・5 合併号 瀬戸内海総合研究会 30. 山陽町史編集委員会『山陽町史』山陽町 1986 31. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』93 岡山県教育委員会 1995 32. 新納泉・光本順編『定東塚・西塚古墳』北房町教育委員会 2001 33. 「中ノ谷横穴墓」『新庄村埋蔵文化財発掘調査報告』新庄村教育委員会 2023 34. 『竹田墳墓群』竹田遺跡発掘調査報告第 1 集 鏡野町教育委員会 1984 35. 『鏡野町史』考古資料編 鏡野町 2000 36. 『岡山県埋蔵文化財報告』13 岡山県教育委員会 1983 37. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』89 岡山県教育委員会 1994 38. 御津町史編纂委員会編『御津町史』御津町 1985 39. 本村豪章 1981 「古墳時代の基礎研究稿－資料篇Ⅰ－」『東京国立博物館紀要』第 16 号 東京国立博物館 40. 岡山大学考古学研究室編 2009 「勝負砂古墳調査概報」学生社 41. 渡辺健治 1958 「美作隠里箱式石棺調査報告」『古代古備』第 2 集 「古代古備」編集部 42. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』8 岡山県教育委員会 1975 43. 倉林眞砂斗・近藤義郎編『美作の首長墳－墳丘測量調査報告－』美作地域における前方後円墳秩序の構造的研究Ⅰ 吉備人出版 2000 44. 津山市教育委員会『押入兼田遺跡』津山市埋蔵文化財発掘調査報告第 69 集 2000 45. 津山市史編さん委員会『津山市史』津山市 1972 46. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』133 岡山県教育委員会 1998 47. 『稼山古墳群Ⅱ』久米開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 2 久米開発事業に伴う文化財調査委員会 1980 48. 『日上畝山古墳』津山市埋蔵文化財発掘調査報告第 63 集 津山市教育委員会 1998 49. 芳井町教育委員会編『芳井の文化財』第 7 集 芳井町教育委員会 1994 50. 井原市史編纂委員会『井原市史Ⅰ』井原市 2005 51. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』23 岡山県教育委員会 1978 52. 間壁忠彦・間壁霞子「惣田奥 4 号墳」『倉敷考古館集報』17 1982 53. 『長船町史 史料編 (上)』長船町史編纂委員会 1998 54. 『邑久町史 考古編』邑久町史編纂委員会 2006 55. 赤坂町教育委員会『赤坂町誌』赤坂町 1984 56. 山陽町史編纂委員会編『山陽町史』山陽町 1986 57. 新納泉・尾上元規編『定北古墳』北房町教育委員会 1995 58. 『美作町史』資料編 1 美作市 2006 59. 『鏡野町史』考古資料編 鏡野町 2000 60. 『月の輪古墳』月の輪古墳刊行会 1960

・「地」としているものは、古代古備文化財センター編『改訂 岡山県遺跡地図』岡山県教育委員会 2003 及びおかやま全県統合型 GIS の「埋蔵文化財 (遺跡)」(<http://www.gis.pref.okayama.jp/pref-okayama/Portal?mid=15>) に基づく。

2 古墳時代の子ども墓について

本節では、箱式石棺の規模から推定される子どもの埋葬とその埋葬位置について検討する。第1図に岡山県内における古墳時代の箱式石棺出土人骨のうち、初葬者の性別・年齢と箱式石棺の内法を示した。ただし幼児・小児が初葬者である埋葬は、岡山県内では3例が認められるのみであるため、比較のために島根県（菅沢谷C-5号墳）・鳥取県（六部山28号墳・長瀬高浜遺跡）の事例を加えている⁽⁴⁾。

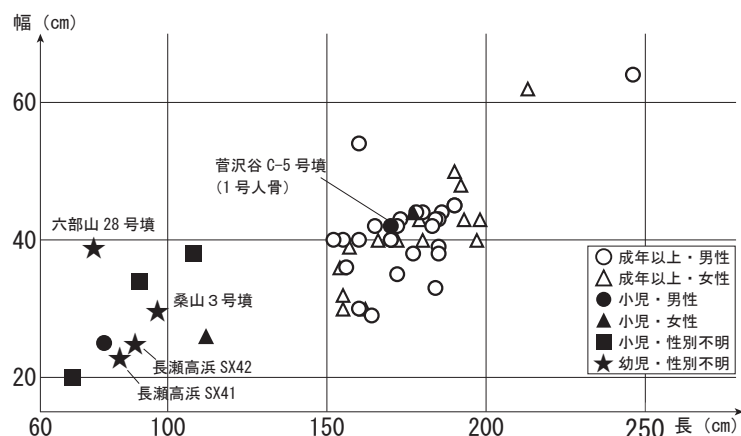
箱式石棺の内法は、成年以上とそれ以下で明確に分かれており、被葬者の身体に合わせて石棺の規模が決定されることを示す。こ

では、内法が120cm以下で再葬墓と考えられないものを幼児～小児前半の埋葬と考え、一括して「子ども墓」と呼びたい。総社市佐野山古墳や真庭市中原24号墳など、身体より大きい内法2mを超える箱式石棺も存在するが、こうした箱式石棺には短甲や装飾品など多量の副葬品を有するものが多いことが指摘できるため、身体を超える規模の埋葬施設は一定以上の地位にあった被葬者のみが使用できたものと考えられる。

表3に岡山県内の内法120cm以下の箱式石棺の一覧を示した。本表は暫定的な集成であり、今後事例が増加する可能性がある。年少者の埋葬と思われる石棺は31例があり、弥生末～古墳時代前期が10例、中期が9例、後期が12例である。

弥生末～古墳時代前期の例では、鋳物師谷1号墳D主体部や七つ坑5号墳第2主体部、久米三成4号墳第3～5主体部など大規模な古墳の副次的・周辺埋葬施設として子ども墓が設けられる例が目立つ。山根屋古墳群など小規模ないし無墳丘と思われる事例においても、成人の埋葬と思われる箱式石棺に隣接するなど、埋葬空間における主体的な位置にある例は認められない。また土器以外の副葬品をもたないことが指摘できる。

中期の事例では、墳丘の主要埋葬施設であるものや玉類を中心とした副葬品を有するものが出現する。5世紀中頃～後半に位置づけられる中原古墳群では、子どもの埋葬が10m未満の円墳・方墳の主要埋葬施設となるほか、中原19・29号墳例では玉類をはじめとする副葬品を有



第1図 箱式石棺の内法と初葬者の性別・年齢

する。また中原古墳群の成人と考えられる埋葬（28号墳など）には刀剣や鉄鏃束などが伴う一方で、子ども墓には武器類が副葬されない点にも注意しておきたい。

後期では、2～4歳の幼児が主要埋葬施設に埋葬された桑山3号墳がある。桑山3号墳の箱式石棺は、墳丘築造途中の整地段階に構築されており、幼児の埋葬が古墳築造の契機となったことが判明している。石棺内の副葬品は鹿角装短刀2、鉄鏃2束19本、玉類50以上があり、成人の埋葬と遜色なく、玉類では上回っている。時期は土器枕である須恵器杯蓋・杯身からTK10型式段階、6世紀中葉である。また墳丘外には周辺埋葬として同時期の子ども墓と思われる箱式石棺と土器棺墓が隣接して築かれている。この箱式石棺は土師器碗1点のみが副葬されていた。桑山古墳群での状況は、①子どもの埋葬が一つの古墳とその周辺に集められた可能性がある、②埋葬や副葬品の差異から、子どものなかでも明確な階層差が生じている、③上位階層にある子どもが鉄鏃束など実戦的な武器を有している、といった点が注目される。隣接する桑山南古墳群でも、墳丘を持たない子ども墓と思われる箱式石棺が周辺埋葬施設として存在する。これらは桑山3号墳の周辺埋葬施設と同様に、土器以外の副葬品は認められない。

横田東古墳群は丘陵上に所在する2基の古墳とその間にある14基の小墳墓群からなる。このうち小型箱式石棺は小墳墓群の2基（4号墓、15号墓）で認められる。小墳墓群には箱式石棺のほか、土坑墓・石蓋土坑墓・横穴

表3 幼児～小児前半の埋葬と考えられる箱式石棺の例

遺跡名	所在地	時期	墳形	埋葬位置	遺構名	石棺内法 (cm)	副葬品	その他	文献
七つ坑 5 号墳	岡山市北区笹が瀬	前期	方方 25m	周?	第 2 主体部	120 × 40		側石に古銅輝石安山岩使用	1
久米三成 4 号墳	津山市中北下	前期	方方 35m	周	第 3 主体部	63 × 27		枕石	2
				周	第 4 主体部	66 × 24			
				周	第 5 主体部	63 × 18		枕石	
桑山南古墳群	津山市平福	後期	-	周	箱式石棺墓 1	104 × 28	須恵器杯身 2		3
				周	箱式石棺墓 2	114 × 37	須恵器杯蓋・杯身	土器枕	
桑山 3 号墳	津山市平福	後期	円 9.5m	主		97 × 30	鹿角装短刀 2・鉄鏃 19・玉 50	2 ～ 4 歳の幼児骨出土	4
				周	箱式石棺墓 1	110 × 45	土師器碗	土器枕（須恵器甕片）、土器棺墓が隣接	
鋳物師谷 1 号墳	総社市清音三因	弥生末	方?	副	D 主体部	65 × 25	鉢形土器	箱式石棺状の石組み	5
山根屋 3 号墓	新見市哲西町上神代	前期	不明	副?		38 × 16		1・2 号墓に隣接	6
山根屋 4 号墓	新見市哲西町上神代	前期	不明	副?		76 × 24		2 号墓に隣接、枕石	
山根屋 6 号墳	新見市哲西町上神代	前期	方 6m	周	第 2 主体部	80 × 18			
山根屋 14 号墓	新見市哲西町上神代	後期	不明	主?		100 × 28	鉄鏃 1・刀子 1（棺外）		
山根屋 15 号墓	新見市哲西町上神代	後期	不明	周		96 × 30	須恵器高杯 1	1 号墳に隣接	
山根屋 19 号墓	新見市哲西町上神代	後期	不明	周		104 × 48			
山根屋 20 号墓	新見市哲西町上神代	後期	不明	周		68 × 36		2 号墳周溝内	
山根屋 22 号墓	新見市哲西町上神代	後期	不明	周		60 × 28		2 号墳周溝に隣接	
光坊寺 1 号墳	新見市哲西町矢田	前期	円 14m	副	第Ⅲ主体部	120 × 34			7
横田東 4 号墓	新見市哲西町矢田	後期	不明	周		105 × 30		2 号墳に隣接	8
横田東 15 号墓	新見市哲西町矢田	後期	不明	周		80 × 40		2 号墳に隣接	
野山第 5 号墳	赤磐市山陽 2 丁目	中期	円 10m	副	第 2 号棺	81 × 29	滑石製勾玉 1・ガラス小玉 1		9
前内池 7 号墳	赤磐市可真下	中期	方 10m	周	石棺 1	87 × 33		枕石	10
宮の前遺跡 C-3 墓	真庭市一色	前期	方 13m	周	シスト 3	60 × 15		墳丘外埋葬	11
中原 5 号墳	真庭市久世	中期	方 9m	主		113 × 22			12
中原 16 号墳	真庭市久世	中期	円 6m	主		109 × 35		床面に礫敷き	
中原 19 号墳	真庭市久世	中期	方 11m	周	第 2 主体部	58 × 33	堅櫛 4・硬玉製勾玉 1・蛇紋岩製管玉 7・刀子 2・鉄釧	周溝内	
中原 29 号墳	真庭市久世	中期	円 6m	主		102 × 32	蛇紋岩製勾玉 2・蛇紋岩製管玉 9	枕石	
山之城 2 号墳	真庭市五名	中期	円 10m	副	第 2 主体部	80 × 14			13
				副	第 3 主体部	85 × 18		枕石	
下湯原 B 遺跡	真庭市下湯原	後期～飛鳥	不明	副?	石棺墓 2	50 × 30		石棺墓 1 に隣接	13
荒神風呂古墳	真庭市西河内	中期	円 13m	周	2 号箱式石棺	88 × 15		板石敷き	14

1. 近藤義郎・高井健司編『七つ坑古墳群』七つ坑古墳群発掘調査団 1987 2. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』30 岡山県教育委員会 1979 3. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』255 岡山県教育委員会 4. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』262 岡山県教育委員会 2023 5. 春成秀爾ほか『備中清音村鋳物師谷 1 号墳墓調査報告』『古代吉備』第 6 集 1969 6. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』22 岡山県教育委員会 1977 7. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』15 岡山県教育委員会 1977 8. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』23 岡山県教育委員会 1978 9. 山陽町教育委員会『岩田古墳群』岡山県営山陽新住宅市街地開発事業用地内埋蔵文化財発掘調査概報(6) 山陽町教育委員会 1976 10. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』174 岡山県教育委員会 2003 11. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』12 岡山県教育委員会 1976 12. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』93 岡山県教育委員会 1995 13. 北房町教育委員会『山之城古墳群』北房町埋蔵文化財発掘調査報告 6 1987 14. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』166 岡山県教育委員会 2002 15. 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』76 岡山県教育委員会 1990

状石蓋土坑墓があり、土坑墓 2 基（14・16号墓）を除く 14基は床面の内法は120cm以下である。これらは子どもの埋葬と考えたい。人骨が出土していないため再葬墓の可能性が残るが、横穴状石蓋土坑墓の 7・10号墓をみると、副葬品である須恵器杯身・杯蓋と鉄鏃などの金属

器は床面の両端にそれぞれ置かれている。これは被葬者の頭部と脚部付近に供えられたものと考えられるので、埋葬時に腐朽・骨化はしていなかったと思われる。

横田東古墳群の小墳墓群は、位置から多くは 2 号墳に伴うものと思われる。特に 7 ～ 9・11号墓は周溝の方向

から2号墳の周辺埋葬とみてよい。2号墳の埋葬施設は堅穴式石室で、内部に人骨、鉄刀1、鉄鏃12（平根式1、長頸鏃11）、刀子1、須恵器が出土している。周辺の小墳墓群は2号墳とほぼ時間差なく埋葬が行われており、横穴状石蓋土坑墓である7・10号墓の墓室内から鉄鏃が複数出土しているほか、石蓋土坑墓である5号墳からガラス小玉6点が出土している。いずれも子ども墓と考えられるため、桑山3号墳の事例と同様に子どもに実戦的な武器が伴うこと、副葬品の有無から子ども間にも階層差が存在する状況が見て取れる。

3 まとめ

本稿では岡山県内の古墳時代人骨の出土遺跡について集成を行ったほか、古墳時代の子ども墓について若干の検討を試みた。

人骨出土遺跡の集成では、岡山県内131遺跡186体分の人骨出土例を確認した。このうち性別・年齢が検討されたものは115例であった。

子ども墓については、古墳時代全体で認められることが分かった。弥生時代後期には、胎児・乳児を埋葬した土器棺墓については墓域が区別されることが指摘されているが⁽⁵⁾、土坑墓群（津山市勝負峪遺跡など）の事例でも分かるように、子どもの埋葬の位置は成人と区別されていない。一方で、古墳時代前期には子どもは古墳の主要平坦面に単独では埋葬されず、周辺埋葬ないし成人の埋葬に伴う形でしか認められない。また土器を除く副葬品を持たず、成人と子どもは明確に区別されていることが分かる。5世紀中葉～後半はこうした区別に変化がみられ、子ども墓が中心埋葬となる古墳や玉類をはじめとした副葬品をもつ例が出現する。また6世紀中葉以降、鉄鏃を中心とする実戦的な武器の副葬や、玉類などの副葬品を多量にもつ事例がみられるようになる。

古墳時代中期後半～後期における子どもの地位の変化は、子ども墓への武器類の副葬からみても集団の軍事編成とそれに伴う父系化と関連していると思われる。本論で例として挙げた桑山古墳群や横田東古墳群では、成人の埋葬に大刀・多量の鉄鏃・馬具などが副葬されており、軍事的な性格を強く示している。軍事編成の中で地位を確立した男性有力者（家長）の近親者であることが子どもの地位を高めたのであれば、それは集団の父系化と直

系卑属への地位継承を示すといえよう。

今後の課題として、本論では小型の箱式石棺のある遺跡を中心に検討したため、今後は土坑墓なども含めて事例を集成することが求められる。また人骨出土事例から認識できる子どもの埋葬は、成人（とくに女性）の埋葬へ追葬される事例が多くみられるのであり、単独の埋葬施設をもつ子どもは、全体の中でもごく一部であったと思われる。こうしたバイアスには注意する必要がある。

集団における子どもや未成年者の地位は、その社会の性格をよく反映すると思われる。本論では岡山県内のみでの検討に留まったため、より広範な地域・時代を通した分析を行っていきたい。

註

- (1) 四田寛人2023「桑山3号墳箱式石棺の幼児埋葬について」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』262 岡山県教育委員会
- (2) 清家章『古墳時代の埋葬原理と親族構造』大阪大学出版会 2010
- (3) 松下孝幸1996「土井ヶ浜遺跡第14次調査出土の中世・弥生人骨」『土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書』山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集 豊北町教育委員会
- (4) これらの詳細については、註(1)文献で示している。
- (5) 亀山行雄「土器棺墓について」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』98 岡山県教育委員会 1994

人骨に関する参考文献

- 田中良之『古墳時代親族構造の研究』柏書房 1995
- 清家章『古墳時代の埋葬原理と親族構造』大阪大学出版会 2010
- 清家章・篠田謙一・神澤秀明・角田恒雄・安達登2021「岡山県内古墳出土人骨のミトコンドリアDNA分析」『国立歴史民俗博物館研究報告』229号 国立歴史民俗博物館
- 清家章・篠田謙一・神澤秀明・安達登・角田恒雄2023「ゲノム解析による岡山県久米三成4号墳被葬者の親族関係」『日本考古学協会第89回総会研究発表要旨』日本考古学協会